参加無料

ＣＡＰおとなワークショップ

こどもが自分の力を信じて生きられる社会へ

2026年 10月20日［火］ 17:30-19:30

会 場 **渡名喜村多目的活動施設**

いじめ、誘拐、虐待、性暴力など、こどもが暴力の被害にあいそうになったり、誰かから嫌なことをされそうになったときに、自分の力で自分を守るにはどうすればいいのでしょうか。
予防教育として効果があり、人権意識を育みながら楽しく学ぶ小学生向けプログラム「ＣＡＰこどもワークショップ」を一部体験して、こどもの力を引き出す関わり方、こどもたちが自分を大切にしながら自信を持って成長できる地域づくりやおとなの関わりについて一緒に考えてみませんか。
こどもの権利が守られ、こども虐待のない安心・安全な社会をつくるためにぜひご参加ください。

内 容

- ✓ こどもが出会うかもしれない「暴力」とは
  ー被害からこどもを守る方法
- ✓ ＣＡＰこどもワークショップ体験
  ーこどもの権利「安心・自信・自由」
- ✓ こどものSOSに気づく視点と適切な支援
- ✓ こどもの力を引き出す関わり方とは
- ✓ こどもを守るためにおとなにできること

講 師 おきなわＣＡＰセンター

CAPとは

Child Assault Prevention（こどもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、こどもが暴力から自分を守るための予防教育プログラムです。おきなわCAPセンターは1996年に発足。県内各地の小学校を中心に、保育園、幼稚園、こども園、中学校、高校、児童養護施設、各市町村、教育関係機関、地域などでワークショップ、講座、研修会を実施しています。

参加者からの感想

- 子どもに対する声かけなど具体的な方法まで聞くことが出来て良かった。楽しく学ぶことができた。
- こどものSOSにどう気づき、どう対応するのかを学べた。
- 現在、さまざまな理由で登校ができない生徒の対応をしています。今日の内容を活かして対応していきたいと思います。
- 子どもを勇気づける言葉を大切に、子どもの自己肯定感が高まるような保育を行っていきたいと思った。
- ロールプレイなどイメージしやすい進め方でわかりやすかった。洗練された、ムダのないプログラムだと思った。
- 子どもが自分で自分を守ることができる大切な知識、学習だと思います。CAPが教育プログラムに組み込まれたら子どもたちの権利を守ることもできる。もっと学校にCAPが浸透したらいいのになと思いました。

申込不要 関心のある方はどなたでも参加できます。直接会場へお越しください。

問合せ先 渡名喜村役場民生課（担当 中西）電話 098-989-2317

主催：沖縄県　共催：渡名喜村　事業受託：特定非営利活動法人おきなわCAPセンター